

A Q A Q A Q A Q

ふるさと納税の取り組みで、市直営ではなく、代行業へ委託した理由を伺う。

直営では、事務量的に負担が大きいため、市内の多くの方の参加や、就労の場の提供など全てコントロール、マネジメントしてもらうために検討し、委託とした。

A Q

コミュニティバス運行事業で、田山地区のデマンド化の試験運行内容を伺う。

利用前日までに予約してもらい、玄関先まで迎えに行くなど試験運行を半年間行い、運行の在り方を検討するものである。

A Q

地区内幹線交通運行補助金について、どこからどこまで運行するのか伺う。

花輪線の休止になった便の時間に合わせ、バスによる田山から西根まで、試験運行を考えているものである。

A Q

家庭的保育の設置についての目標をどう考えているのか。

運営がしっかり成り立ち、長く経営し、運営してもらえないような思いで進めたい。

A Q

綿帽子温泉館に、毎年大きな修繕費が付くが、指定管理者の負担はないのか。

費用対効果を見極め、指定管理者と協議しながら検討したい。

A Q

要支援の訪問、通所介護を市が実施することについて、制度改正になった理由は、各地域の実情に応じた社会資源、ボランティアの活用や、要支援者の多様な二-

予算特別委員会での主な質疑

A Q A Q A Q A Q

ズに合ったサービスを提供していくために移行していくのではと考えている。

七時雨温泉の老人憩の家と同じ位置付けの施設を、3地区に設置し、平等に利用できるようにするべきでは。

3地区同一の施設を設置する条例が必要と考えている。来年4月から実施できるように進めていきたい。

A Q

医師、看護師養成事業で将来に向け、何人くらい養成していくつもりなのか。

予算上は、2人を見込み、当面は医師養成で、2人の枠に応募してほしい。

A Q

市ブランド牛地域一貫生産奨励事業の内容を伺う。

現在、肥育農家の元牛の値段が高く、市内産の子牛導入に対して、市、農協で1頭当たり2万5千円ずつ補助し、飼育農家が頑張れるよう取り組みものである。

A Q

市単独の農の大地担い手育成支援事業と、国の産地パワーアップ事業との関係は、国や県の補助にのれない頑張っている担い手農家の機械購入などに支援するものであり、補助率は25%とするものである。

A Q

安代リンドウ品種海外活用事業での、海外戦略の取り組み内容を伺う。

海外で活用することで、生産者の技術の向上、品種の改良、ロイヤリティ回収など、市と生産者が戦略の共有を目指すものとするものである。

29年度
予算

一般会計予算額は
196億2,500万円

— 前年度比7億6000万円(3.7%)減 —

平成29年度各会計別の予算総額(1万円未満四捨五入)

一般会計	196億2,500万円		
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	39億7,222万円	
	後期高齢者医療	2億5,681万円	
	国民健康保険(診療施設勘定)	2億8,764万円	
	公共下水道事業	5億8,626万円	
	農業集落排水事業	6億4,389万円	
	浄化槽事業	7,998万円	
企業会計	水道事業	収益的収入	6億2,487万円
		収益的支出	6億1,709万円
		資本的収入	2億7,247万円
	西根病院事業	資本的支出	4億8,655万円
		収益的収入	8億5,573万円
		収益的支出	8億7,647万円
	資本的収入	1億2,998万円	
	資本的支出	1億4,080万円	

平成29年度の予算は、3月10・13・14・16・17日の5日間、予算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と6特別会計、2企業会計を原案のとおり可決すべきものと決定。第1回定例会最終日の3月22日本会議で全て原案のとおり可決され、29年度の税金の使い道が決まりました。ここでは、予算特別委員会での質疑や29年度の主な事業などを紹介します。



農業用トラクター

みのり農の大地担い手育成支援事業

【予算額】2,500万円

【事業内容】 地域農業を支える意欲ある担い手の育成、確保のため、農業用機械などの導入に対して支援



八幡平市清掃センター

ごみ焼却施設基幹的設備事業

【予算額】1億3,903万円

【事業内容】 稼働後、約20年を経過したごみ焼却施設の延命化のため、機械設備の更新や施設の改修などを実施



八幡平温泉館森の湯

温泉入浴券助成事業

【予算額】1,148万円

【事業内容】 市内の60歳以上の方に、1枚につき400円助成で一冊24枚綴り、年度内に1人に一冊交付する事業



保育給食風景

私立保育所整備事業

【予算額】1億6,533万円

【事業内容】 定員が増える私立保育園の改修などに対して支援し、保育環境の整備を進め、待機児童の解消を推進



西根総合支所

庁舎管理(西根総合支所改修)事業

【予算額】1億584万円

【事業内容】 昭和62年度に整備した西根総合支所の屋根、高圧受電設備などの改修や浄化槽用放流管の撤去を実施



会派視察研修

政務調査活動事業

【予算額】528万円

【事業内容】 議員の調査研究や、その他の政務活動に活用するため、1人当たり年間24万円の政務活動費を交付

予算特別委員会での主な質疑

Q ラグビートップリーグチームの合宿招聘事業の内容を伺う。

A 6月6日から5日間、日本選手権で準優勝したパソニックワイルドナイツというチームを招聘する。

Q 八幡平温泉郷の引湯管整備に、国の助成事業を目指してきたが、実現できなかったのはどうしてか。

A 引湯管整備は、14億8千万円を予定している。国の補助支援を得るのは、高いハードルがあり厳しい。今後、過疎対策事業債をえるように努力していく。

Q 焼走りキャンプ場の古い管理事務所の解体工事で実施設計委託費とあるが、委託でなく自前でできないのか。

A 経費削減やスピードアップのためにも、工事手法を、今後見直していく。

Q 市道中田野駄森線の工事が、途中で中断し、路線に掛かっている住民から、いつになるか問い合わせがあるが見込みは。

A 野駄田圃の基盤整備が採択されるかどうかにかかっている。採択されれば、庁舎につながる路線も考えなければならぬので、若干の猶予をもらいたい。

Q 市道の軽舗装予算が例年と変わらない、2千万円が計上されている。この予算で

は、市民の要望に応えるものになっていないのでは。

A 50数路線の要望があることは、承知している。増額したい気持ちはあるが、全体のバランスを優先した予算である。9月の補正で増額を考えたい。

Q 田山スマートインターチェンジの設置を、関係機関に強く要請してもらいたい。

A 田山地域だけの利用でなく、もっと広域的に波及効果があることを示していくことが、国を動かすことにつながる。

Q 防災行政無線を、多額の予算を掛けてアナログからデジタルに変える。この無線の最大の問題は、多くの地域で聞き取りにくいということだが、改善するのか。

A デジタル化の理由は、アナログ電波は国の方針で、平成34年11月末で利用できなくなることである。今までより、聞き取りやすくなると思われる、デジタル化で携帯電話へのメール配信などの連携事業も計画している。

Q 市内の中学校で、不登校になっている人数と、その中でいじめによつての不登校の生徒がいるのか伺う。

A 市内の中学校で、30日以上2カ月まで休んでいる生徒は、13人になっている。いじめによる不登校の生徒は、いないと把握している。

討論(一般会計・3月22日本会議)

【反対討論】 伊藤一彦議員(緑松会)

田山スキー場用地を7200万円で購入する案件に反対する。現在の賃貸料160万円の45分に匹敵する。今まで5300万円が支払い済みである。27年度の決算を見れば、収入119万円に対し、支出2930万円の毎年赤字経営で成り立っている。また、県の補助で圧雪車2台を7340万円で購入した。用地活用には、ノルディックの国際公認コース、ファミリーコースを造るというが、造成関連経費の提示がない。28年度の最新版の基本

【賛成討論】 立花安文議員(八起会)

歳入においては、地方交付税を82億円、市税などの自主財源を50億円計上し、住民福祉に必要な財源が確保されている。歳出においては、子育て支援として出産祝金を第2子から支給し、インフルエンザ予防接種助成を中学生まで拡大した。

農業、観光振興においては、花きりんどうの海外展開や訪日外国人観光客の拡大に向けた取り組み、林業振興では、新規就労者支援や狩猟免許の新規取

【反対討論】 米田定男議員(日本共産党)

予算に対する賛否は、その主要な部分に対する判断である。

就学援助受給者に対する入学準備金の早期支給、通学定期購入に対する補助率の引き上げなどについては評価する。しかし、今予算の焦点は、田山スキー場用地取得問題であり、大更駅周辺整備事業である。この2つに共通するのは、「公共施設の供給量の

計画にも記載がない。県からの管理委託を受けているのに、県にも折衝がなく突如出てきた案件である。近況のスキー場の状況を踏まえると、財政的にも現在の賃貸での運営が最少の赤字で済む。取得すべき事業なのか、近隣のスキー場などの広域開催を視野に入れるなど、最悪は撤退を踏まえた柔軟な体制が必要である。今後のスキー競技人口、隣接のスキー場の動向を精査するなどし、県の補助が重要であることから、県にも働きかけ、政策を策定してからの審議と考える。

得者支援が計上され、人材養成に取り組んでいる。

道路整備においては、町村合併前から安代地区住民の念願であった、国道282号の安代バイパスの代替道路である市道鴨志田線整備に係る実施設計費と用地取得費が計上されている。

今回の予算案で特筆すべきことは、地方債のプライマリーバランスが黒字で、人口減少が進む中、堅実な財政運営であり、市民の負担に応えるものと評価する。

適正化」を基本方針とする、市公共施設等管理計画に反していることである。田山スキー場では、7200万円での用地取得の方針でありながら、その投資に見合う需要増の根拠は提示されなかった。また、大更駅周辺整備事業の自由通路については、需要予測さえ存在していない。これらは、今後の財政運営にも係わる問題であり、明確に反対すべきものと判断する。



外国人指導助手による勉強風景

外国語指導助手配置事業

【予算額】 1,720万円

【事業内容】 外国語指導助手を4名採用し、児童生徒の英語教育の推進を図るとともに、異文化交流につなげる。



田山スキー場

田山スキー場運営事業

【予算額】 1億5万円

【事業内容】 スキー場用地購入(7,217万円)を含むスキー場整備などにより、安全で円滑な運営を図る。



防災行政無線

防災行政無線整備事業

【予算額】 5億3,796万円

【事業内容】 防災行政無線のデジタル化整備工事と、屋外拡声子局施設の維持管理を行う。



市営町裏住宅

市営住宅整備(建て替え整備、解体)事業

【予算額】 1億5,919万円

【事業内容】 耐用年限を経過する市営住宅を計画的に建て替える。(整備対象 建設54戸、解体90戸)



整備が進む大更駅前線

都市計画道路大更駅前線整備事業

【予算額】 3億3,410万円

【事業内容】 街づくりプランの作成や土地区画整理などを行い、大更駅前線沿いに商店を集積し地域を活性化させる。



展望台貯湯槽

八幡平温泉郷引湯管など整備事業

【予算額】 1億4,354万円

【事業内容】 引湯管2ルートを改修し、給湯利用施設に十分な温度で安定的な送湯を確保する。